

おがまち日奈久ニュース

成27年11月1日  
(第75号)  
発行者  
日奈久住民自治会

日奈久の人口  
(9月末現在)  
男1314人  
女1659人  
計2973人  
(21年末3444人)

「ありがとう」が  
行き交うまち 日奈久  
身近な人に「ありがとう」  
愛する日奈久に「ありがとう」  
訪れる人に「ありがとう」

校区の全世帯・住民を対象 市の補助金活用

日奈久住民自治会は、日奈久校区のすべての世帯と住民を対象に、自治会が主催する事業によって生じた損害や事業に参加して生じた傷害等を補償する自治会活動保険に9月25日付けで加入しました。保険金は1世帯131円、総額約16万円(20%割引)ですが、八代市コミュニティ活動活性化補助金(平成27年度新設)から10万円、自治会予備費から約6万円を充当します。

自治会活動保険に加入 活動中の損害や傷害を補償

住民自治会では、年間を通してさまざまな活動を行っています。有・使用または管理する施設や活動がもたらした。今回の保険加入により、来年9月24日までの一年間は損害や傷害が補償されることとなります。

保険の対象となるのは日奈久校区すべての世帯(1465世帯)とすべての住民(2995名)です。保険の大まかな内容は次のようになります。

- ①賠償責任 自治会が所有・使用または管理する施設や活動がもたらした事故等によって、第三者に傷害や損害を与えた場合など
- ②傷害補償 自治会活動に従事または参加中に住民が身体に障害を被った場合
- ③傷害見舞費用補償 住民以外の親族や参加の依頼を受けた人が自治会活動に従事または参加中に身体に障害を被った場合の慣習としての見舞金に對し
- ④賠償責任 3千万円
- ⑤傷害 死亡・後遺障害 3百万円
- ⑥入院日額 2千円
- ⑦通院日額 1千円
- ⑧傷害見舞費用 10万円
- ⑨費用損害 50万円

ステージ発表や抽選会など楽しさいっぱい

第13回日奈久校区ふれあい祭 11月28日(土)

日奈久校区の住民みなさんが集まって、楽しくふれあい、交流を深め合おうと、第13回日奈久校区ふれあい祭が日奈久ゆめ倉庫で開催されます。(主催:住民自治会)

主管:スポーツ文化部会

ステージ発表は、9時30分開会。太極拳、カラオケ、フラダンス、舞踊、リズム体操、日舞、合唱など主に公民館での生涯学習の成果発表が行われます。最後に11時20分頃からお楽しみ抽選会があります。また、会場壁面には子供たちの人権作品が展示されます。

駐車場等では、婦人会のフリーマーケット、ひふみ館の朝市、ミニゲーム、ヤッシロソウ無料配布、



昨年の抽選会。たくさんの賞品が用意され盛り上がった。

婦人会からお知らせ

あなたも出品できますよ

フリーマーケットは婦人会がお世話します。多くの出品をお待ちしています。出品を希望する方にお知らせとお願いです。

- ①出品したい方は各町内の婦人会員に申し出てください。
- ②値段(価格は出品者で決めてください。収入の一部を婦人会活動に使わせてください)。
- ③生活用品、生活雑貨、衣類、食品などいろいろな出品できます。
- ④出品者はできるだけ会場にお出でください。また、売れ残ったものは持ち帰ってください。

演芸や餅投げで盛り上げ 温泉神社秋季例大祭 11月15日(日)

日奈久温泉神社秋季例大祭は、浜町の請け元で神事やカラオケなどの演芸、餅投げなどが行われます。ただし、雨天の場合は神事のみ行われ、他は中止になります。日程は下の広告をご覧ください。

温泉神社は、今から607年前、浜田六郎が温泉を発見した10年後に市杵島姫命を祭神にお迎えし、



秋晴れの空の下、カン!と澄んだ音と歓声が響き合いました。

校区グラウンドゴルフ大会 60名が健康を楽しむ

10月17日(土)日奈久小中学校グラウンドで熱戦を展開しました。一人だけ子どもで参加した城下紫音さんの話「難しかったけど、おしいちゃんやおぼあちゃんがよく教えてくれ、とっても楽しかったです。上手なお年寄りが多くすごいと思いました」

津森小遭難の碑公園など整美

10月25日早朝、住民自治会の呼びかけで約50名の住民が参加し、公園の除草と鳩山の慰霊碑までの通路の補修などを行いました。

壊れた鳥居を撤去

台風15号で一部破損した鳥居は、倒壊の恐れがあったため、例大祭を前に約80万円かけて撤去されました。再建については未定です。



鳥居撤去後の参道(左は社務所)

また、イベント広場(相撲場)の舞台の建物も右段側屋根が一部破損しました。これは市の災害復旧予算で修理されます。

11月の行事から

- 10月31日~1日 第6回湯の街日奈久シニアサッカーフェスティバル ドリームランド
- 31日 歓迎レセプション(イベント広場)
- 1日(日) 日奈久小学校たけのこ発表会
- 5日(木) 小・中学校クリーン作戦
- 15日(日) 日奈久温泉神社秋季大祭 日奈久中学校文化祭
- 26~28日 第8回八代キッズサッカー大会 ドリームランド
- 28日(土) 日奈久校区ふれあい祭 住民自治会関係会議 (場所: 南部市民センター)
- 2日(月) 町内連絡委員会 13:30
- 5日(木) 企画イベント部会(ひなぐ雛祭り)
- 16日(月) 運営委員会 15:00
- 20日(金) スポーツ文化部会 19:00 広報部会(編集会議) 19:00

無人ヘリ水稲防除のお礼

日奈久営農改善組合

8月中旬から10月上旬にかけて実施しました無人ヘリコプターによる水稲防除につきまして、日奈久校区の皆さまのご理解とご協力をいただきありがとうございます。

住民自治会運営委から

10月16日第7回運営委員会から記事にできなかった主なものをお知らせします。

- (1) コミュニティ活動活性化補助金10万円で自治会名入りイベントジャケットを購入する。
- (2) 市民と市長とのチームトークは応募しないこととした。
- (3) 元若竹保育園の利活用について、住民自治会が公民館と2施設を管理するのは困難と予想されるので取り下げを検討する。
- (4) 公民館のコミュニティセンターへの移行について、市民活動政策課が出席して説明と意見聴取。
- ・9月市議会に提案できなかった。来年4月からの移行は延期になる見通し。
- ・各校区説明会で出された意見等の紹介の後、意見交換。①移行後の詳細な業務が判らない②先行地域を選定、段階的に進めてはどうか③現在、公民館主事の援助を要する場合も多く、移行後の管理助成金では相当の人材確保は困難と思われる等の意見が出された。



塩南町に栄冠 町内対抗リレーも

日奈久校区民体育祭 年間総合は大坪町

校区民体育祭は10月11日(日)小中学校グラウンドで行われ、塩南町が優勝しました。

当日未明と朝に強い雨が降ったため、約1時間遅れで開始されましたが、よい天気で埃りもなく爽やかな絶好のスポーツ日和でした。



玉入れに熱中する子供たちの表情がいい (吉田幸一さん撮影)



昔子どもの得意技 自転車輪転がしの妙技

競技成績は、1位塩南町53点 2位山下町44点 3位浜町42点。町内対抗リレーは1位塩南町 2位大坪町 3位新田町でした。

年間総合成績では1位大坪町32点 2位山下町30.5点 3位新田町30点でした。

温泉街でも農村部でも日奈久十五夜綱ひき 9月27日



各町内が持ち寄った大綱をつなぎ、見物していた人も加わって引き合う温泉街の綱ひき。(八代市 服部敏男さん撮影)



綱練りは町内独自の方法がある。山下町では3点リンクを使う。

寄稿

祖父中原文敬の思い出

林田澄子さん(下西町)

(「日奈久の歴史」の著者中原文敬の三女の娘でお孫さんになる林田澄子さんから寄稿して頂きました。)

祖父中原文敬(ふみよし)は明治22年2月10日、日奈久上西町に生まれ、大塚医院の長女を妻に四男四女をもつていますが、長男を幼い頃亡くしています。

若い頃、祖父は海外で勉強したい

と、独学で英語を学んでいたそうですが、家の事情で断念して師範学校へ進み教師になったそうです。祖父は「人間一生勉強、死ぬまで勉強、そして人の役に立つ人になること」などよく言っていました。晩年頃は11ほどの役職に就いていました。性格は温和で静かな人という印象ですが、母たちが子どもの頃はかなり厳しかったそうです。私たち姉弟と一緒に住んではいませんでしたが、会う機会は多く、それでも叱られたことはありませんでした。母の使いで祖父の家に行くと丹前を着て机に向かいながら「いらっしゃい」と

家族連れでサツマイモ収穫祭

10月25日100名を超える参加者があり、約1時間で1800袋を完売。焼きいもサービスがあり、焼き立ての美味しさに満足そうでした。



土の中から芋を掘り出し袋に詰める親子連れ。大きな芋に子供たちも大喜び。

大明神秋季大祭大いに賑わう



10月15日、日奈久阿蘇神社(大明神)秋季大祭は幼児・小・中学生の相撲で大いに沸きました。赤ちゃん土俵入りは校区外への宣伝が功を奏して当日申込みが増え21人にもなりました。14日の前夜祭(左)は舞踊、カラオケなどの熱演で盛り上がりしました。

33名が出品 日奈久美術展



10月10～18日開催。洋画、日本画、デザイン、工芸、写真など、身近な人たちの作品が並びました。

初秋の風と景色を満喫 山頭火ウォーク 240名が参加



第16回「九月は日奈久で山頭火」のラストイベントとして9月27日(日)子ども14人を含む240名が球磨川河川敷から日奈久温泉神社までの約13kmを歩きました。高齢の人も多いので出発前に健康チェックがあり、6名の看護士が車から見守りました。ゴール後は「山頭火弁当」を食べ、温泉を楽しんだあと、日奈久ゆめ倉庫で参加者の投句表彰と抽選会とで盛り上がりしました。(写真は甲田智さん撮影)

言う姿を全て思い出されます。夫婦の仲がよく、こんな夫婦になったいなあとよく思ったものです。昭和15年に日奈久町長に当選していますが、戦後の昭和22年公職追放にあっています。「日奈久の歴史」は祖父が数十年かけて調査し資料づくりをして本にまとめましたので、これを読めば日奈久のことがよく分かると思います。祖父は歴史好きはもちろん漢詩や短歌も得意でした。祖父は漢詩の号を蘆水(ろすい)と名乗っていました。後に「ひやみず」という小冊子を発刊しています。「ひやみず」とは年

祖父が91歳で亡くなり、長男の中原道夫(平成24年12月死去)が母と二人で遺品を整理しておりましたところ、短歌集が出てきて伯父と母は涙したそうです。それは祖母が亡くなり涙一つ流さなかった祖父が作った短歌集でした。うつし世に又逢うことのなき身には夢にまみゆる時ぞうれしき男ぞと涙を見せぬけなげきも夜ともなればくすれをりけり

小・中学校生が稲刈り体験



10月13日、6月に植えた稲の刈り取りをさ終わり、集合してアグリ日奈久の白石さんの話を聞く小学5年生と中学1年生。

環境美化善行者 丸下鉄夫さん(山下町)を表彰

八代市は地域の環境美化や住みよい美しい地域づくりに貢献した人や団体を表彰しています。10月14日、個人21人と6団体が表彰され、日奈久からは山下町の丸下鉄夫さん(奥様が代理)に中村市長から表彰状が贈られました。

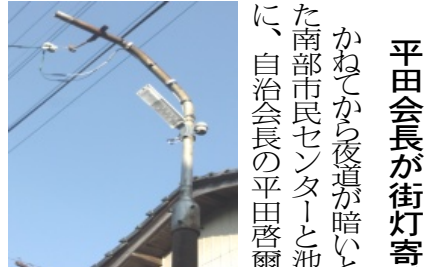
山頭火ウォークに参加して



須川珠美さん 5月から観光案内所に勤務しています。

今回初めて「山頭火ウォーク」に参加しました。当日は天気にも恵まれ、九月の心地よい風を感じながら国指定名勝「水島」などの景色を楽しみ、まさに「種田山頭火」の気分で歩くことができました。途中、最高齢参加者の方とお話する機会もあり、元気に歩かれる姿を見て、私も元気をいただきました。

夜道が明るくなったよ 平田会長が街灯寄贈 東町



かねてから夜道が暗いと指摘のあった南部市民センターと池田酒店の間に、自治会長の平田啓爾さんの寄贈でLED街灯が点灯し、住民から喜ばれています。

駅ノートから



金比羅様の前で相撲をとる園児たち

金比羅宮の大祭 大坪町

10月10日、大坪町にある金比羅宮で秋の大祭が行われ、近くの保育園児の前で相撲をとる園児たち

育園児の奉納相撲に地元住民らが盛んに声援をおくるなど、境内は大いに盛り上がりしました。しかし、大坪の集落で火事が頻繁にあつて、困った村人たちが金比羅様を祀って火災が起きないように祈ったという言い伝えがあるそうです。金毘羅神は、海の神、航海の神、船の神として、漁業関係者や航海に携わる人々から航海安全、豊漁祈願、水難守護の深い信仰を集めているようです。金毘羅神はまた、雨乞いの神として、農業関係者の崇敬も集めています。